

出前講座 報告書

| | | | |
|---------|-------------------------------------|-----|-------|
| 開催日時 | 令和元年11月19日(火) 19時30分～21時30分 | | |
| 開催場所 | 伊賀市教育センター | | |
| 申請団体等名称 | 伊賀市PTA連合会 | | |
| テーマ | 秋田県仙北市の学力向上及び宮城県多賀城市図書館の取り組みについて | | |
| 委員会名等 | 教育民生常任委員会 | | |
| 出席議員 | 北出忠良(委員長)・福村教親(副委員長)・北森 徹・桃井弘子・山下典子 | | |
| | 田中 覚・近森正利・百上真奈 | 記録者 | 福村 教親 |

【視察の報告について】11月5日から7日まで教育民生常任委員会での秋田県及び宮城県における行政視察の内容を副委員長より報告。学力向上の取り組みとして、ふるさと学習の充実・思いやりの心と命を大切にする・確かな学力の向上の3点を掲げ取り組む。教員が変わっても同じ指導ができるよう毎年、全教職員による研修会の実施。「秋田探究型授業」のモデルを活用し、①自分の考えを持たず②グループで話し合う③最後に振り返る(発表)を授業の基本とする。家庭学習では、学年×10分を習慣づけし小学校入学時から徹底する。児童が休み時間等に自由にプリント(教科・学年問わず)をする事ができ、提出されたプリントは教員が確認をし全てにコメントを添える。専門教科に特化した教員(コティチャー)の授業を参観し教員の指導にあたる。

多賀城市立図書館では東日本大震災の復興のシンボルとして市民が集える複合型図書館の設立を目指す。階層ごとにテーマを決め、1Fリビング・2F書斎・3F学習部屋とする。年中無休とし年間180日のイベントを開催、読書通帳(預金通帳型)等々斬新なアイデアで年間120万人の利用者がある一方、常に学習席の不足が慢性化している状態が課題となっている。

学力向上では家庭学習の大切さと教育委員会・教職員・保護者・地域すべてが現状を変えていく意識を持ち、学力の底上げをはかる。行政として教育環境や、教職員の意識改革も含め細部への予算付けも重要である。図書館では、中心市街地活性化の一環と位置づけし、学習スペースの確保も含め市民が集える施設の設備整備は早急な課題である。

【まとめ】

- ・携帯電話等を家庭で利用する場合のルールについて考えなければいけないのではないかな。
- ・学力向上のため、家庭学習において、何をしたら良いのかわからない児童がいるので、学校からアドバイスをし、学校や市全体で統一した指導ができるようにしていくべきである。
- ・支援が必要な児童へのケアや保護者へのケアが十分とはいえないのではないかな。

伊賀市議会議長 様

令和元年11月22日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

教育民生常任委員長 北出 忠良